

いじめ撲滅に関する児童指導について

小山市立間々田小学校

校長 室井 松子

桜の花も満開を迎え、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。学校では新年度が始まり、子どもたちの明るい笑顔で溢れています。新しい学年になり、大きな期待を持って学校生活に臨んでいる様子がよくわかります。しかし、期待と同時に新しい学年への不安な気持ちを抱えている子も少なくありません。

そこで本校では、だれもが楽しく学校に来られるように「始業式後の全体指導」と「学級活動でのクラス指導」において下記のような話をしました。

間々田小のみんなが楽しく学校に来られるように、先生からみんなに話しておきたいことがあります。大切なことなのでよく聞いてください。

それは、「親切と思いやり」ということです。楽しいはずの学校が嫌になることは、とてもつらいことです。そこで、いじめやいやなことを絶対にしないでほしいのです。もし、いやだなと思うことがあったらすぐに言ってください。先生たち全員でみんなを守ります。

では、特に気をつけてほしいことを言いますから、必ず守ってください。

① 友だちを大切にしよう。

特に、小さい子や今病気で体が弱っている子、けがをしている子などもいるはずです。いろいろな友達がいるのですから、訳もなく押したり、廊下を走っていて突然ぶつかったりしたりはとても危険なのです。600人以上もいる友だちの中には、ちょっとぶつかっただけでも大変なことになってしまう子もいるのです。自分が元気だからといって乱暴なことをするととても危険なのだということを忘れないでください。

② 相手を思った言葉遣いをしよう。

わたしたちは、みんなちがっています。体の大きさも顔も声も。病気の人や体の不自由な人もいます。車いすの人もいます。外国から来る人もいます。世界中の人がたくさん日本にやってきました。髪の毛の色も目の色もみんなちがっていて当たり前なのです。

ですから、体のどこかがちがっているからといって、人のいやがることを言うのはおかしいことです。ちがっていて当たり前なのですから言われたらいやだなと思うことは言わないようにしましょう。

「どうしたの？」などと聞かないでそっとふつうにしてあげるほうがいいですね。

今までも、間々田小では、そういう子どもたちをそっとしておいてやさしくしてきました。これからもお願いします。

これからも、いじめは「しない」「許さない」姿勢を全職員で取り組んでいきたいと思っております。どうぞご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

児童指導担当 佐野 真一